

# 河内神社報

発行所: 〒731-5151  
広島市佐伯区  
五日市町上河内  
http://kochijinja.org  
河内神社  
社務所

## 夏越神事に 家族皆さままで お参り下さい

宮司 山田 茂雄

七月五日(日)午後二時より、夏祭りと同時に、夏越神事「大祓式」と「茅の輪くぐり」を執り行います。家族皆さまお揃いで河内神社にお参り下さい。



日々の生活の中で、私たちが、知らず知らずのうちに犯した罪や過ちを祓い清めて、氏神様の新しい力を戴き、人間としての清浄な正しい姿に立ち返り、暑い夏を元気に乗り切り、今年後半を無病息災であるように願う大切なお祭りです。

### 大祓式

ご参列される方は、人形に半年間の罪穢れを移して、ご神前に納め、神職とともに大祓の祝詞を唱和します。その後、切麻(麻と和紙を小さく切ったもの)で自分の体を祓い清めます。



祓えの行事の後に、納めた人形をお焚き上げて、人形に移した罪穢れを火の力によって祓い除けます。

なお人形は、地区の氏子総代さんに各家庭へお配りして頂きます。人形に各自の氏名、年齢を記入し、自分の体をさすり、息を吹きかけて、当日の参列の際にお持ち下さい。

当日ご参列できない方は、社頭に人形入れを準備してありますので、都合の良い日にお持ち下さい。総代さん不在の地区(藤の木、河内南等)の方は、当日社頭に人形を準備しておりますので、皆さま直接河内神社にお参り下さい。

### 茅の輪くぐり

「備後風土記」にある、武塔の神(スサノオノ命)が「茅の輪を腰に付けたる人は子孫に至るまで疫病に罹らない」と言われたという故事に基づいたものです。茅萱で作った輪を「水無月の夏越の祓えす

る人は千歳の命延ぶといふなり」と唱えながら、8の字を書くように三回くぐり、無病息災を祈ります。

茅の輪は、六月二十九日から七月二十一日まで河内神社の境内に設置してあります。

祭典当日にお参りできない方は、設置の期間中にお越し頂きお参り下さい。お参りの作法は茅の輪に表示してあります。



### 今後の河内神社のお祭り

- 七月五日 午後二時 夏祭、夏越神事(大祓)
- 八月十四日 午後八時 献灯祭
- 十月十日 午後六時半 秋祭前夜祭(神楽奉納)
- 十月十一日 午後二時 秋祭(例大祭)
- 十一月十五日前後 七五三祭
- 十二月十三日 午後二時 新嘗祭(大祭)
- 十二月三十一日 午後七時 除夜祭(大祓)
- 毎朝 日供祭
- 毎月一日・十五日 月次祭

日供祭、月次祭では、氏子の皆さまの日々のご安泰をお祈りしています。午前七時頃のご神前の清掃がすんだ後から執り行いますので、ご参拝下さい。

河内神社ホームページ



### 伊勢神宮式年遷宮「奉賛お礼申し上げます」

昨年から氏子崇敬者の皆さまにお願ひして、多数の氏子の皆さまにご協力いただきました。

早速、神宮に報告し、納金いたしました。千円以上御奉賛いただいた方には、神宮より参宮章等が発行されています。

既にお手元に届けられていると思いますが、今後、伊勢神宮にお参りされる機会があれば、必ずお持ち下さい。

お参りの際、内宮及び外宮御前の守衛室に参宮章を示していただければ、御垣内(垣の中の庭)にて神職の先導の下、特別参拝をすることが出来ます。

普段は経験できない神宮の御社殿を間近に、悠久の世界を体験して下さい。

伊勢神宮では、今から約千三百年前に第一回目の遷宮が行われました。以来二十一年に一度繰り返され(戦国時代一時中断)ており、来たる平成二十五年には第六十二回目を迎えます。

### 伊勢神宮式年遷宮

神宮式年遷宮とは、大御神の新しいより大きなお力をいただくため、二十一年に一度古例のままにお住まい(社殿)を新たにし、調度品(御装束、御神宝)

をとのえ、新しい社殿に神様にお遷りいただく神宮最大のお祭りです。また同時に鳥居、宇治橋等も作り替えます。

### 宇治橋渡始式

昨年の七月二十六日から宇治橋の架け替え工事が行われていました。今年の十一月に遷宮御造営の最初の建造物として宇治橋が完成します。十一月三日には宇治橋の鎮守の神、饗土橋姫神社での儀式の後、親・子・孫三世代揃った夫婦をはじめ、全国からの参列者と共に渡り初めをする行事が行われます。



### ご奉賛のお願い

河内神社では、昨年五月より奉賛活動を行っています。既に多くの氏子の皆さまに奉賛金を納めていただいております。本年度の河内神社の各祭礼の時、社頭に奉賛受付コーナーを設けますので、総代不在の地区の皆さまも、ご協力をお願い致します。

### 河内神社の動物たち①

「猿」 神社にはいろいろな動物がいます。彫刻、石造物、絵馬など河内神社の動物たちを紹介いたします。

象さん? 拝殿正面の注連縄が掛かる柱上の両端に、鼻の長い動物の彫刻があります。木鼻という部分です。象のように見えますが、河内神社の彫刻は猿です。本殿にも猿の彫刻があります。猿は悪夢を食べるといふ想像上の動物で、象との

違いは、耳が小さくかつていて、毛が生えていることです。象の場合は、耳が大きく垂れ下がるので違いが分かります。神社を守る動物として木鼻に使われるのは、猿のほか、象、龍などがあります。ほかの神社に参拝の時に確認してみてください。象がいるかも知れません。



### 一目でわかる神社の「つば」

「木鼻」柱から突き出した頭貫(柱の頭部どうしを繋ぎ通す貫)の端部に施される装飾部材。渦巻や獣頭などの彫刻を施し装飾性が高い。河内神社の拝殿正面の木鼻は猿です。(欄宜 山田 岳晴)

### 諸祈願祭受け付けます

初宮詣、安産祈願、歳祝、家内安全、学業成就、厄祓い、交通安全、商売繁盛、七五三祭、地鎮祭、家祓いなど電話でご予約ください。

河内神社社務所 (082) 9288-2283

上河内・下河内・上小深川・下小深川・藤の木・河内南彩が丘河内地区の氏神社河内神社へは

